

トス
木橋ノ使用ヲ一時停止セシメント欲セハ橋桁及横桁ヲ鋸斷シ遠ク之ヲ運搬スルカ或ハ橋板ヲ撤去スルヲ要ス此等ノ作業ヲ爲スニモ尙必要ノ器具ヲ有セサルトキハ少クモ橋梁ハ鐵鎖、強綱、鐵線、鐵帶等ヲ以テ連結シタル障害物ヲ以テ阻絶スルカ或ハ鹿砦ヲ構築シテ一時ノ通行ヲ拒止スヘキモノトス

舟橋ノ使用ヲ停止スルニハ敵岸ノ方向ニ在ル定錨ヲ舟橋ヨリ離脱シ而シテ舟橋ヲ友岸ノ方向ニ廻轉セシムルカ或ハ舟橋ニ漏水孔ヲ穿開スルカ或ハ之ヲ砲撃シテ撃沈スルカ或ハ橋板ヲ除去シ之ヲ水中ニ投棄シ流下セシムルカ或ハ之ヲ水中ニ沈没セシムルカ或ハ之ヲ近傍ニ埋没スルカ或ハ之ヲ燼滅スヘキモノトス

破壊若クハ使用停止ノ状態ニ在ル橋梁ノ修復ハ其時ノ情况ニ由テ之ヲ適當ニ處理スヘキモノトス縱令ハ橋梁中橋脚或ハ橋桁破壊シ在リ而シテ該橋梁カ石橋ナルトキ又ハ地面ヨリ甚ダシク凹陷シ在ル河川ノ橋梁

ニ在テハ其修復ハ工兵之ヲ擔任スヘキモノトス歩兵ハ通常只小ナル木橋ノ修復ニ使用セラルヘキモノナリ即チ小ナル木橋破壊セラレ在ルトキハ架柱、橋桁、負桁材或ハ冠材ヲ挿入シ或ハ横桁及新ナル橋板ノ固着ニ由テ再ヒ通過シ得ラルヘキ如ク處理スヘキモノナリ而シテ橋板トシテ厚板、普通板、戸、扉等應用セラル、モノトス橋板若シ負擔力薄弱ナルトキハ數枚ヲ重複シテ強固ナラシムルカ或ハ橋板上ニ僅カノ間隔ヲ以テ木幹若クハ桁材ヲ橋梁ノ縱方向ニ從ヒ之ヲ排列シ其上ニ板ヲ横或ハ斜ニ釘着シ抵抗力ヲ増加セシムルモノトス

ハ、軍隊ノ渡河

軍隊ノ渡河ハ小舟、筏或ハ渡船ニ由テ實行セラル、モノトス而シテ筏ハ流速緩徐ナル河川ニ對シテ使用セラル、モノナリ但シ歩兵ノ爲メ使用スヘキ筏ハ左右ニ配列シタル桁材ヲ強固ニ結束シテ構成シタルモノヲ以テ足レトス馬匹及車輛ヲ搭載セシムヘキ筏ハ踏板ヲ高クシ且ツ之ニ欄杆ヲ設置スヘキモノトス又筏ヲ線綱渡船トシテ使用スルコトアリ

即チ兩岸ヲ通シテ河幅ノ上部ニ堅牢ナル網索ヲ張リ筏ヲ其網索ニ連結シ兩岸ノ往復ヲ自在ナラシムルモノナリ尙線網渡船トシテ二或ハ三艘ノ小舟ヲ並行ニ接合シ其上ニ横材、縦材及橋板等ヲ固定シ人馬車輛ノ搭載ニ便ナラシムルトキハ最モ良好ナリトス

ニ、鐵道及電信

鐵道ノ使用ヲ長時日間停止セシメント欲セハ材料、機關車、鐵道列車、停車場ニ存在スル工事用器具及豫備材料ヲ奪取シ通信所等ヲ破壊シ此等ノ諸材料ヲ其取扱人員ト共ニ遠ク他方ニ搬致スルヲ要ス短時日間使用ヲ停止セント欲セハ存在スル諸材料ヲ一時使用ニ堪エ得サル如ク破壊スレハ足レリ縱令ハ機關車ニ就テハ制汽機、注水器及其他緊要部分ノ打破列車ニ就テハ各車輪ノ撤去其他各豫備材料ノ奪取并ニ軌鐵ノ抽出及鐵橋ノ破壊等ナリ而シテ軌鐵ヲ抽出セント欲セハ兩軌鐵間ヲ接續シタル化螺ヲ強ク打撃シテ軌鐵ヲ各別ニ離間シ然ル後軌鐵ト枕木トヲ強固ニ接合セシ大ナル鈎釘ヲ打撃シテ枕木ト軌鐵トヲ離隔セシムルモノトス

其他特ニ緊要ナルハ轉轍場ノ尖端及轉轍裝置ヲ破壊スルニ在リ此等ノ破壊工事ヲ行フニ最モ必要ナル器具ハ重鎚、大起挺、鑿及鉗子等ナリトス。破壊セラレタル鐵道ヲ修復シ再ヒ使用ニ支障無カラシメント欲セハ其修復ハ之ヲ鐵道隊若クハ鐵道堤理部又ハ鐵道會社ノ技術的施設ニ待タサルヘカラス

電信ノ破壊ハ通信所内ニ設備シ在ル諸器具ノ撤去并ニ導線ノ毀損ニ由テ其目的ヲ達成スルコトヲ得ルモノトス架空ノ電線ハ若干ノ電柱ヲ斬倒シ且ツ之ニ附屬シ在ル絶緣體ヲ破碎シ而シテ導線ヲ數個所或ハ一個所ニ於テ切斷スルトキハ最モ迅速ニ且ツ最モ確實ニ通信ヲ斷絶セシムルコトヲ得ヘシ

地下導線ノ破壊ハ通常ニ於テ工兵之ニ任スルモノトス

八、局地ニ於ケル築壘並ニ築城諸工事

1. 築壘ノ目的ハ天然ノ地形カ占領者ニ僅カナル掩護ヲ與フルカ或ハ弱點ヲ感セシムルトキ散兵壕及其他ノ堆土ヲ以テ障地ヲ強固ニスルニ

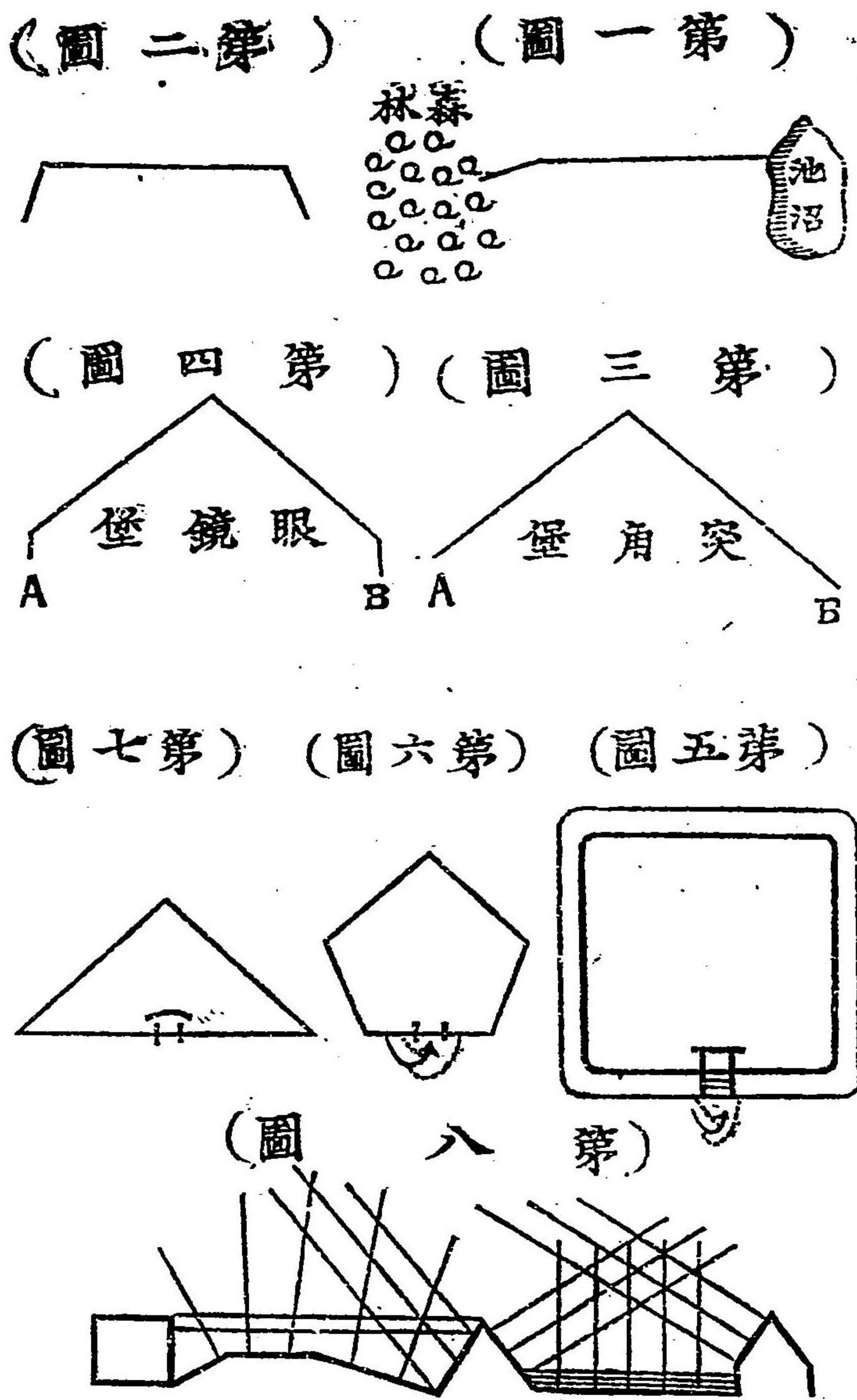
在リ縦合ハ第一圖ニ示スカ如ク池沼及森林間ニ存スル平坦開濶地間ニ一連ノ散兵壕ヲ掘開シテ兩地物ヲ連繋スル時ハ茲ニ堅固ナル一陣地形成セラル、カ如シ又防禦陣地ニ於テ援隊及豫備隊ノ爲メニ全ク據ルヘキ地物無キカ或ハ僅カニ之レアルモ甚タ不完全ナルトキハ其掩護ノ爲メニ堆土作業ヲ行フコトアリ又小哨等カ平坦開濶地ニ曝露シ在ルトキハ堆土ヲ以テ其周圍ヲ圍繞スヘキモノトス

2. 各地點ノ築城諸工事縦合ハ或ル一小隊カ敵ト衝突ヲ豫期シ一地ニ在リテ監視勤務ニ服シツ、在ル際ニ於テ行フ工事ノ如キハ成ルヘク其地點ニ現在スル家屋莊園若クハ墓地等ニ由テ各々其地形ト地物ニ應シテ處置スヘキモノトス

3. 本來ノ堡壘

堡壘ノ大小形狀ハ戰鬪ノ目的、占領者ノ兵力及局地ノ形狀ニ從テ決定スルモノトス

a. 啓開堡



其形狀ハ專ラ地形及掃射スヘキ地域ノ如何ニ由テ決定スルモノナリ而シテ之ヲ使用スヘキ場合ハ陣地ノ側方及後方ハ天然ノ地物ニ由テ掩護セラル、カ或ハ通過スヘカラサル地物ノ爲メニ敵ノ近接

ヲ許サ、ルカ若クハ敵ニ對シ頑強ナル抵抗ヲ絶對的ニ必要トセサ
ル時等是レナリ(第二圖參照)

b. 半閉鎖堡

此堡壘ハ敵ノ攻撃ニ對シ頑強ニ抵抗スヘキモノナレトモ後方ヨリ
闖入スル敵ニ對シテハ一ノ掩護モ有セス其形狀ハ第三、第四圖ニ示
ス如シト雖勿論地形ニ由テ適當ニ編成スヘキモノトス而シテ此等
ノ堡壘ノ内AB間ハ塞柵若クハ鹿砦ヲ以テ閉塞スヘキモノトス

c. 閉鎖堡

此堡壘ハ最モ頑強ニ敵ニ抵抗スヘキ爲メニ編成セラル、モノナリ
(第五乃至第七圖參照)

堡壘ハ一般ニ平地ニ於テハ支障點トシテ使用セラレ且ツ大ナル戰場
ニ在テハ散兵壕ト相連繫シテ防禦力ヲ高度ニ發揚スル爲メニ應用セ
ラル、モノトス(第八圖參照)

局地ニ於ケル築城諸工事ハ比較的永續セシムヘキ目的ヲ以テ防禦ヲ企

圖スヘキトキ施設セラル、モノナリ

イ. 森林ニ於ケル築城工事

林縁或ハ其前方百乃至二百米突ノ線ニ散兵壕ヲ構築シ且ツ必要ナル
地點ニハ鹿砦ヲ設置スヘキモノトス森林ノ突角ハ通常ニ於テ攻撃點
トナリ易キカ故ニ此部分ニハ必要ニ應シテ最モ堅固ナル堡壘ヲ構築
スルカ或ハ少クモ林縁ノ後方二十乃至五十米突ノ地點ニ密集部隊掩
護ノ爲メニ一ノ堆土ヲ有スル掩壕ヲ構築セサルヘカラス林縁ニ沿ヒ
構築スル散兵壕ハ林縁ヲ側射シ攻者ヲ十字射撃ノ下ニ曝露セシムル
如ク經始セサルヘカラス密集部隊ヲ以テスル逆襲ノ爲メニ開放シ置
クヘキ出口ハ成ルヘク道路ノ附近ニシテツ支援隊及密集縱隊ノ爲
メニ掩護ヲ與フヘキ地點ナルヲ要ス廣濶ナル道路カ森林ヲ横斷スル
カ又ハ林空地存在スルトキハ此地點ニ散兵壕及鹿砦等ヲ編成シ以テ
第二地區ヲ形成スルヲ要ス

森林ノ正面前ハ努メテ射界ノ清掃ヲ行ヒ敵ノ近接ニ便利ナル道路ハ

之ヲ閉塞シ橋梁ハ使用ノ見込無キトキハ之ヲ破壊スルヲ要ス砲兵ハ
森林ノ側方ニ陣地ヲ撰定スヘキモノトス若シ林縁ニ陣地ヲ撰定スル
トキハ敵ハ砲兵ヲ容易ニ試射シ得ルノミナラス林縁ヲ占領シ在ル歩
兵ハ敵砲兵ノ爲メニ概ネ多大ノ損害ヲ被ムルモノナリ

ロ、隘路ニ於ケル築城工事

隘路ニ於ケル築城工事ハ第一隘路ヲ敵ニ對シ閉塞スヘキカ第二退却
ニ際シ之ヲ使用セサルヘカラサルカ第三隘路ヲ後ニ前進ニ利用スヘ
キカニ從テ開始及其他ノ施設ハ自然ニ決定セラル、モノナリ

第一ノ場合ニ於テハ敵ニ對シ隘路ヲ閉塞スヘキモノナルカ故ニ主ト
シテ敵ノ通過ヲシテ不可能ナラシムルヲ要ス縦合ハ橋梁ハ之ヲ撤去
スルカ或ハ爆破スルカ又ハ阻絶シ凹道、林道、深谷、狹隘ナル谷地等ニハ
鹿砦ヲ設備シ隄防ハ之ヲ切開シ溝渠ハ之ヲ道路上ニ導キ汎濫又ハ阻
絶ニ供スルヲ要ス隘路ノ入口ハ友軍射撃ノ爲メニ充分瞰制セラレサ
ルヘカラス故ニ散兵壕或ハ必要ノ場合ニ構築セラルヘキ堡壘ノ開始

ハ隘路ノ後方適當ノ地點ニ於テシ該地點ヨリ隘路タル障害物ハ全ク
十字射撃ノ下ニ曝露スル如ク編成セラル、ヲ要ス而シテ築城工事ハ
爲シ得ル限り隘路ノ地點ヨリ標高ヲ高カラシメ隘路ニ對シ充分瞰制
ノ利ヲ收得セサルヘカラス

第二ノ場合ニ於テ隘路ヲ後方ニ利用セント欲スルトキ特ニ該隘路甚
タ長延ニシテ其前方入口ヲ後方ヨリ射撃スルコト能ハサルトキハ隘
路ノ前方適當ナル地點ニ堡壘ヲ構築シ隘路ハ占領部隊通過ノ後敵ヲ
シテ之ヲ利用セサルシメシメカ爲メニ速カニ之ヲ破壊スルカ若クハ爆
破スルノ準備ヲ爲シ在ラサルヘカラス隘路ノ後方ニハ散兵壕ヲ掘開
シ友軍ノ退却ヲ確實ニ收容シ且ツ續進シ來ル敵ニ對シ充分ナル抵抗
力ヲ發揚セサルヘカラス

第三ノ場合ニ於テ隘路ハ爾後ノ前進ノ爲メ開放シ置クヘキモノナル
カ故ニ必要ナル堡壘ノ構築等ハ之ニ適當シテ成ルヘク遠ク隘路ノ前
方ニ開始スヘキモノナリトス

家屋ニ於ケル築城工事ニ對シテ我國野戰築城教範改正草案ハ左ノ如ク説明セリ
第一ニ着手スヘキハ射撃ノ設備及守兵ノ掩護ニシテ敵ノ侵入ヲ防遏スヘキ處置ハ之ニ次クモトス

ハ、家屋ニ於ケル築城工事

家屋ニ對スル築城工事ハ目的、時間及方法ニ從テ急造的或ハ正式的ニ構築セラル、モノトス
短時間ニシテ兵力モ亦充分ナラス且ツ絶對的必要ヲ感セサルトキハ其設備ハ概テ次ノ要領ニ從フヘキモノトス
先ツ最初住民ニ退去ヲ命シ次ニ總テ燃燒シ易キ物品ヲ除却ス故ニ必要ヲ認ムルトキハ藁式ノ屋蓋ヲ撤去シ或ハ之ヲ濕潤セル布囊、布片等ヲ以テ被覆スルカ或ハ之ニ水ヲ灌クヘシ次ニ戸扉及門扉ノ密閉并ニ封鎖ヲ行ヒ尙此等ノ物件ノ離脱ヲ確實ニ保護シ又板材、卓子板及寢具并ニ土壤、土砂ヲ以テ填實シタル布囊ヲ以テ窓牖ノ組織ヲ變更シ肥料若クハ濕潤セル藁束ヲ以テ地窖ノ亮窓等ヲ密閉スルモノトス窓牖、戸扉及門扉ニハ勿論屋蓋ニモ必要ヲ認ムレハ銃眼ヲ穿開シ展望臺及家屋ノ突出部ハ牆壁ノ基脚ヲ掃射スル爲メニ常ニ利用スヘキモノトス尙爲シ得レハ退却ノ際ヲ願慮シテ若干ノ設備ヲ爲シ置クヲ要ス

築城ニ多クノ時間ヲ有シ作業力亦充分ニ存在シ且ツ成ルヘク長ク防禦ヲ實行セサルヘカラサルトキハ建築物ハ内部ニ於テ尙若干ノ地區ニ分割セラルヘキモノトス從テ第二地區内ニ存在スル門扉等ハ必要ニ際シ何時ニテモ封鎖シ得ヘキ準備ヲ爲シ中間ニ在ル牆壁及門扉等ニハ銃眼ヲ穿開スヘキモノトス又層樓式家屋ハ其上部ニ築城工事ヲ施シ階上階下共ニ各室及各區間ニハ消火ノ爲メニ水ヲ填實シタル桶ヲ供ヘ其他適當ノ處置ヲ施シ置クヘキモノトス
必要ニ際シ建築物ノ外方周圍ニ塹壕ヲ掘開スルトキハ之ヨリ生スル土壤ハ家屋ノ方面ニ投積シ敵ヲシテ之ヲ使用セシムヘカラス又築城工事ヲ施セシ家屋ノ前地ハ少クモ五百歩以上射界ヲ清掃シ且ツ敵ニ有利ナル掩護物ハ之ヲ除去シ牆壁、板扉、籬笆等ハ之ヲ築城工事ニ利用シ爲シ得レハ此等ノ地物ヲ應用シテ第二地區ヲ編成スルヲ要ス又成ルヘク鹿砦、狼狽、阻絶等ヲ設備シ敵ノ近接ヲ困難ナラシムルヲ要ス而シテ此等ノ地點ニ充分猛烈ナル十字射撃ヲ集注スルハ成功上最モ希望

ス、ヘキ要件ナリトス

ニ、莊園製造場及停車場等ニ於ケル築城工事

工事ノ種類及程度ハ目的、時間及方法ニ由テ決定セラレ、モノナリ即チ莊園カ戦闘ノ經過中一時占領セラレ、トキハ時間ノ許ス限リ急速ニ總テノ工事ヲ實施スヘキモノトス故ニ總テノ戸扉ハ之ヲ密閉シ且ツ封鎖シ又莊園ノ周圍ヲ閉塞シ尙之ヲ側射シ得ル如ク設備スルヲ要ス又莊園附近ノ平坦地ニハ散兵壕ヲ構築スヘキモノニシテ其抵抗力ノ程度ハ各散兵カ敵ノ射撃効力ニ對シ相當ノ掩護ヲ有スル如ク開始スヘキモノトス前記ノ如キ情況ニ在テハ防禦ハ主トシテ莊園ノ周圍ニ於テ之ヲ行フモノトス

莊園ノ占有ハ戰鬥上ニ大ナル關係ヲ有シ殊ニ其築城工事ノ爲メ充分ナル時間存在スルトキハ莊園内ニ於ケル總テノ建築物ハ充分ナル抵抗力ヲ發揚シ得ル如ク設備シ莊園ノ内部ニハ地區ヲ編成シ敵ヲシテ各地區毎ニ攻撃ヲ實施セサルヲ得サル如クナラシムルヲ要ス而シテ

其地區ニ現在スル墻壁、籬笆、建築物、隣莊及庭園等ハ此等ノ設備ヲ容易ナラシムルモノナリ入口及敵ノ近接シ易キ緊要ナル道路上ニハ十字射撃ヲ爲シ得ル如ク準備スヘシ若シ此等ノ射撃ヲ爲スニ適當ナル障壁等存在セサルトキハ散兵壕ヲ掘開シ且ツ必要ニ應シテ阻絶ヲ構築スヘキモノトス最前地區ヨリ後方地區ニ交通ヲ爲シ得ヘキ爲メニ後方地區ノ入口ハ之ヲ開放シ置キ使用後ハ必要ニ應シ直チニ之ヲ閉鎖シ得ル如ク準備シ在ラサルヘカラス又各地區中ニ於テ最モ善ク經營セラレタル大建築物アルトキハ内部防禦ノ核心トシテ之ヲ設備スルヲ要ス就中莊園ノ外圍ハ抵抗力ヲ最モ高度ニ發揚スル如ク設備シ前地ニハ充分ナル射界ヲ準備シ總テ敵ノ爲メニ有利ナル掩護物ハ悉ク之ヲ除去スヘシ又敵ノ近接シ易キ緊要ナル道路及橋梁ハ之ヲ破壊スルカ或ハ少クモ其上ニ障害物ヲ構成シ而シテ其地點ハ必ス占領者ノ十字射撃ニ曝露スル如ク編成スヘキモノナリ

ホ、村落ニ於ケル築城工事

村落ニ於ケル築城工事ハ内部ニ於テ之ヲ實施スルカ或ハ外方ニ於テ之ヲ行フカ及之ニ要スル時間ノ多少目的并ニ方法ニ由テ決定スルモノナリ

時間ニ餘裕アリ且ツ村落ヲ頑強ニ保持セサルヘカラサルトキハ左ノ如ク設備ヲ爲スヘキモノトス

a. 村落ノ外圍ハ必要ノ程度迄工事ヲ完成スヘキモノトス即チ高キ牆壁ニ對シテハ階段ヲ供ヘ又銃眼ヲ準備シ開濶地ニシテ牆壁若クハ籬笆等モ亦存在セサルトキハ散兵壕及其他ノ胸牆ヲ以テ或ル空隙ヲ閉塞スヘク籬笆ノ前方若クハ後方ニハ必要ニ應シテ塹壕ヲ掘開シ此ヨリ生セシ土壤ハ籬笆ニ投積シ而シテ一ノ胸牆ヲ構成スルコトヲ努メ敵方ニ通スル總テノ出口ハ之ヲ阻絶スル爲メニ適當ノ工事ヲ施シ各塹壕内ハ之ヲ縱射シ得ル如ク設備スルコト頗ル緊要ナリ

b. 村落ノ正面前ハ勉メテ廣濶ナル射界ヲ準備シ凹道及深谷等ニハ障害物(鹿砦、狼狽、阻絶)ヲ設置シ橋梁ハ之ヲ破壊スルカ或ハ少クモ之ヲ

閉塞シ淺瀬及堤防等モ其情況ニ應シテ適當ナル工事ヲ施シ此等ノ諸點ハ悉ク占領者ノ十字射撃ノ下ニ置カレサルヘカラス

c. 村落ノ内部ニハ莊園、牆壁、籬笆、家屋ヲ貫キ一連ノ交通路ヲ編成セサルヘカラス就中外圍ノ後方ニ近ク其他村落内ノ空地、道路ノ支分點、墓地及大ナル莊園等ニ由テ地區ヲ構成シ各地區内ニ於テ核心點ヲ設備スヘキモノトス而シテ村落内ニ於テ最モ大ナル建築物及莊邸或ハ寺院等ハ大核心點トシテ之ヲ設備シ其他石造家屋、街路ノ隅角ニ在ル家屋及街路若クハ平地ヲ瞰制スヘキ家屋ハ前各項ニ記述セシ要領ニ從テ築城工事ヲ實施スヘキモノトス

d. 消火用トシテ充分ナル水ヲ準備シ置クコト必要ナリ

一般ニ於テ主ナル防禦線ハ牆壁、籬笆、板塀等ヲ以テ形成セラレタル村緣即チ村落ノ最外圍ノ線ニ撰定スヘキモノナリトス然レトモ此境界甚タシク四邊ニ對シテ降下シ敵ノ砲彈容易ニ其外部圍廓ヲ占領シ在ル守兵ノ頭上ニ於テ破裂スルカ如キ地形又ハ村落自然ニ凹陥シ在ル

トキハ最外ノ防禦線ハ村落ノ前方適宜ノ地ニ於テ撰定スヘキモノト
ス然ルトキハ本來ノ村落ハ單ニ最外防禦線ノ後拒及豫備隊并ニ綑帶
所等ヲ掩護スル爲メニ應用セララル、ニ過キサルモノトス
ヘ城壘無キ市街ニ於ケル築城工事
外圍ニ堡壘又ハ城壁無キ市街ノ築城工事ハ大ナル村落ノ築城工事ニ
準シ之ヲ實施スヘキモノトス

戰史例證戰術教科書終

明治四十一年六月二十日印刷

明治四十一年六月廿五日發行

定價 金七十五錢

翻譯者

鈴木 義 任

發行者

東京市四ツ谷區坂町九十七番地
高 橋 慶 藏

印刷者

東京市赤坂區田町五丁目十一番地
齋 藤 裕

印刷所

東京市赤坂區田町五丁目十一番地
齋 藤 活 版 所



發行所

大賣捌所

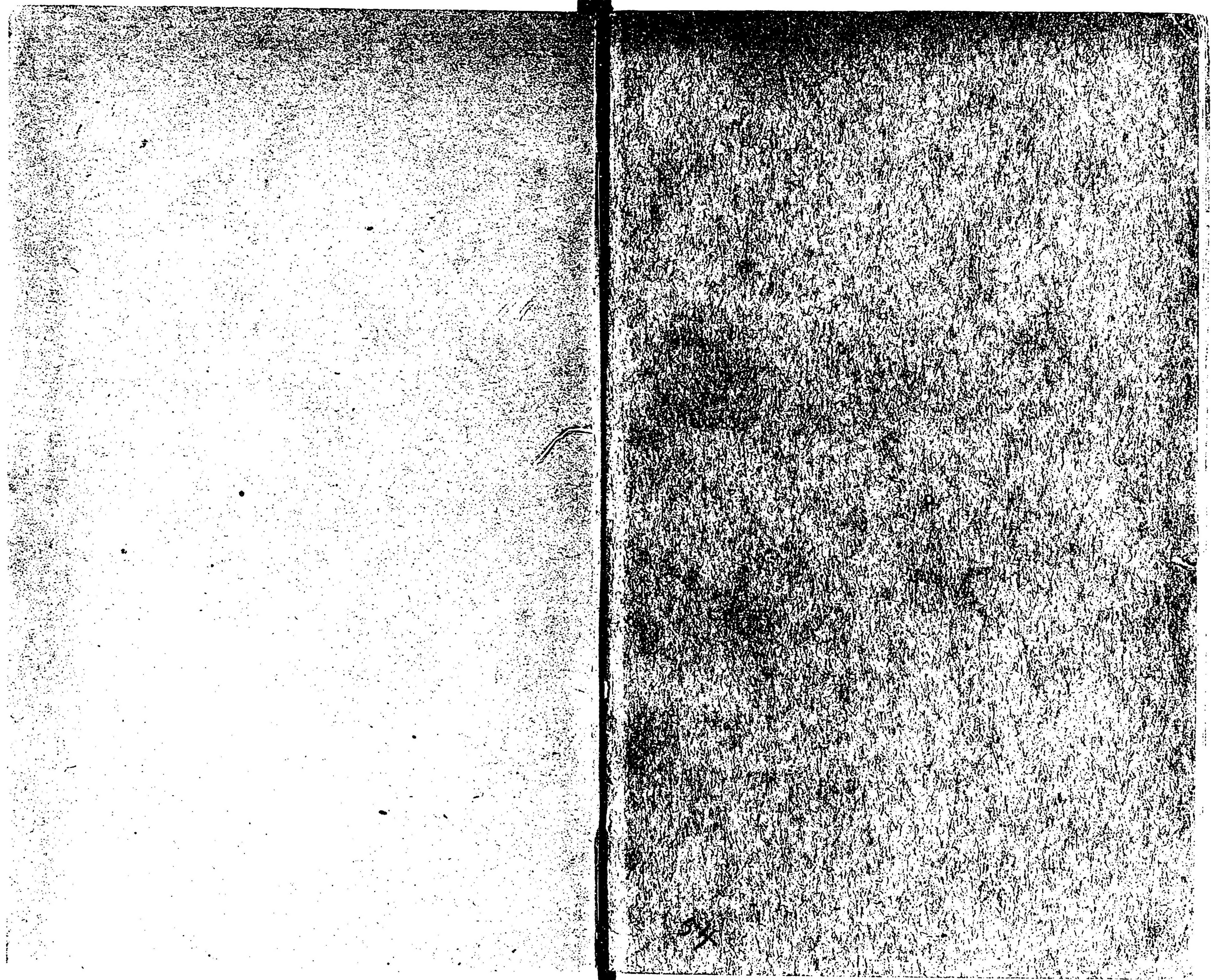
不
動
書
店

東京市四ツ谷區坂町九十七番地
高 橋 慶 藏

東京市日本橋區通三丁目七番地

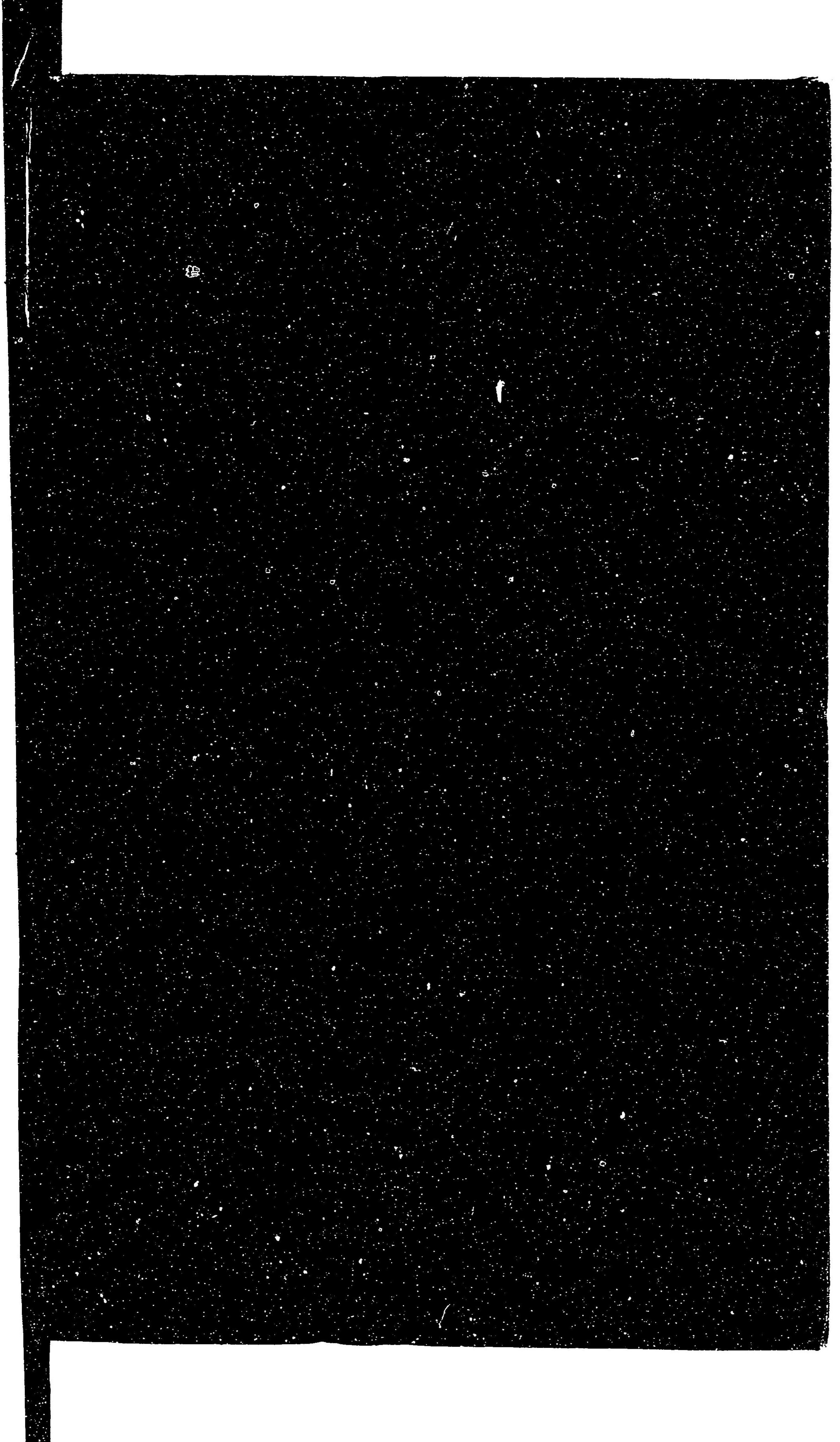
武 揚 堂

319
211



3/9

211



051900-000-4

319-211

戦史例証戦術教科書

フォン・ツォーベル/著

M41

BFB-0794



